



モンゴルセミナーへのお誘い（中1～高3対象）

本校とモンゴル・ウランバートルにある新モンゴル学園の交流に長年携わっておられる数学科川崎先生からご寄稿いただきました。夏休みに入ってからになりますが、新モンゴル学園の卒業生の方を本校にお招きしてセミナーが開催されます。当日はオンラインで新モンゴル学園の在校生の方とも交流をすることができます。アジアに目を向けるきっかけにいただければ幸いです。

モンゴルセミナー開催のお知らせ

本校の、教員が引率する海外の研修先は、アメリカ、イギリス、モンゴルの3カ国があります。この内モンゴルは、2016年に、ウランバートルにある日本語を必修としている私立新モンゴル高校と本校とが学術提携校となったことを縁に、隔年で夏に研修（スタディツアー）を実施することとなり、これまで2回（2017年、2019年）行われた実績があります。

研修開始時、多くの本校生のモンゴル観は、“大相撲力士、（スーホの白い馬の影響と思われる）草原、ゲル、馬頭琴”といったものであり、あるいは今もそう変わらないかもしれません。



大草原



スモウアリーナ

しかし、現在、ゲルには衛星放送を受信するアンテナが設置され、遊牧民にとって、スマホは欠かせない生活必需品となっています。そして、人口300万の約半数の150万人が暮らす首都ウランバートルは、東アジア有数の大都会でもあります。



ウランバートル名物の自動車渋滞(急速な発展でインフラの整備が追い付かない)

となると、いきおい、多くの生徒のモンゴル観が崩れてしまうかもしれませんが、今もって都市から車で30分ほど進めば、そこには雄大な草原が広がります。

研修の参加者は、約一週間の研修期間のうちの半分を、そこでモンゴルの中高生たちとともに過ごします(残り半分は、ウランバートル市内のホテルに宿泊し、JICAへの訪問や現地の中高生との交流会などを行います)。

ゲルでは、互いの文化や夢を語り合い、夜、ゲルから出ればそこには人間の悠久の営みを感じずにはおれない満天の星空が出現し、その星空の下で、自らの来し方行く末に、それぞれが思いを馳せてきました。

いわば、このモンゴルスタディーツアーは、現代社会にあつて誠に稀有な、臨機応変さと試行錯誤の中で自らを鍛えうる、ロマン溢れる研修であると言えます。



週に2回、北京⇄モスクワの国際列車が到着するウランバートル駅
(中口に挟まれ、日本や朝鮮半島と友好関係にあるモンゴルの治世には世界から常に注目が集まる)

さて、この研修は、昨年度も予定されていましたが、世界的なコロナ禍の影響で、残念ながら中止となりました。ついては、来年 2023 年、もしくは再来年 2024 年の再開を目指しています。

そこで今夏は、このモンゴル研修の紹介と、これまで本校との深い交流をされてきた新モンゴルの卒業生の皆さん（現役の国際医療福祉大学、東京医科歯科大学への国費留学生）をお招きし、モンゴルの魅力や現代モンゴルの様々な事柄についてお話し頂きます。

さらに、当日は、新モンゴル高校の方々とも ZOOM を利用して交流（現役の MIT 生も参加予定）をする予定です。これは時差が僅か 1 時間の両国だからこそ可能なことです。

この研修に興味のある皆さんはもとより、生物学的にも、地政学的にも興味の尽きることのないモンゴルについて見聞を広めてみよう、という皆さんには絶好の機会に思われます。

中 1～高 3 までのすべての在校生の皆さんの参加を心からお待ちしております。

開催日時:2022 年 7 月 30 日(土) 12 時 50 分～14 時 30 分(質疑応答 14 時 30 分～15 時)
場所:理科館階段教室(3号館1階)
申し込み:7 月 6～8 日, 13 日, 20 日のいずれかに, 2 号館 2 階のグローバル教育部岡崎先生
もしくは、同数学科職員室の川崎先生へ参加したい旨を伝えてください。

海城&新モンゴル 交流ミニアルバム



2015年10月 両校による学術提携校覚書署名式(ウランバートル)
両校の本格的な交流が開始される



2016年3月 新モンゴル高校留学生合宿所(千葉県長生郡)にて両校の交流会開催
両校生によるホーシェル(モンゴル式ピロシキ)づくり・新モンゴル生による馬頭琴演奏



2016年8月 新モンゴル高校数学科長ダシバツ氏が本校にて数学科リレー講座にご出講
新城門プロジェクト(日本の医学部進学志望の両校生徒へのスカイプでの数学講座)発足



2017年7月 第1回モンゴルスタディツアーより
チンギスハーン広場での本校生・日常生活から将来の夢まで幅広く語り合う両校生



2019年8月 第2回モンゴルスタディツアーより
ウランバートル郊外の草原での本校生・新モンゴル高校で授業を行った本校教員と生徒達



新モンゴル高校から本校への留学生来る

2019年11月 本学へ短期留学を行った国際数学オリンピックメダリスト（ロシア大会）であるO・ミシェールさんと本校の高2生（当時）

なお、過去のグローバル通信 (<https://www.kaijo.ed.jp/students/12994>) にも、

モンゴルスタディツアー参加のすすめが掲載されております。よろしかったらご一読下さい。